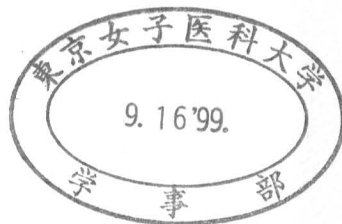


平成11年度 Block 6

課題 No. 3

「赤ちゃん、元気かしら？」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

<課題番号> 1999-B6-T-III

1999年4月27日現在

<課題名> 赤ちゃん、元気かしら？

シート1

今年、37歳になる増子愛子さんは、月経が遅れたので近所の産婦人科を受診し、妊娠と診断されました。

シート2

妊娠10週の妊婦健診で、医師から『ふたごですよ』といわれました。その後、母子手帳を2冊もらい、通院し始めました。出血や腹痛もなく、順調に経過していましたが、妊娠26週頃から急に衣服がきつくなり、おなかが頻繁にはるようになりました。

シート3

妊娠28週の妊婦健診時、超音波検査と胎児心拍陣痛モニターを行いました。検査のあと医師から、胎児の発育に差があり、早産の可能性もあると説明され、転院を勧められました。

シート4

大学病院に紹介され、そのまま入院となりました。治療によって子宮収縮も次第に収まり、頻繁に行った超音波検査でも、発育に違いはあるものの2人とも大きくなっていると聞いて少し安心しました。妊娠35週に入った頃、担当医から今までの経過について説明がありました。分娩方法については、愛子さんはできれば普通にお産がしたいと思っていました。

シート5

増子愛子さんは妊娠37週4日に2670gと2220gの女の子を帝王切開で無事に出産しました。2人とも骨盤位でした。手術のあと先生が、発育に違いがあったのはこのためかもしれないと胎盤の写真を見せてくれました。